

2024年度 エコアクション21 環境経営レポート

対象期間： 2023年9月1日～2024年8月31日



内田工業株式会社

作成日： 2024年10月11日

改訂日： 2024年11月8日

■■■■ 目 次 ■■■■

1、組織の概要、対象範囲	2 ～ 10 ページ
2、環境経営方針	11 ページ
3、環境経営目標	12 ページ
4、環境経営計画	13 ページ
5、環境経営計画の取組内容とその評価	14 ページ
6、環境経営目標の実績とその評価、 並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画	15 ～ 16 ページ
7、環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反・訴訟などの有無	17 ～ 18 ページ
8、代表者による全体の評価と見直し・指示	19 ページ

1、組織の概要

(1)事業者名および代表者名

内田工業株式会社
代表取締役 内田 航

(2)法人の設立年月日

昭和46年9月8日

(3)所在地

岡山県倉敷市松江3丁目2番46号
TEL 086-456-5888 FAX 086-456-4552

(4)従業員数 42名

(5)環境管理責任者名

総合責任者 代表取締役 内田 航
環境管理責任者 工場長 淵 健一

(6)事業内容

- ① 産業廃棄物処分(混合調整、油水分離、中和、切断分離、圧縮分離、切断、磁気選別) 詳細:表1-1、1-2
- ② 特別管理産業廃棄物処分(混合調整、中和) 詳細:表1-1、1-2
- ③ 産業廃棄物収集運搬・特別管理産業廃棄物収集運搬
詳細:表1-3、1-4、1-5
- ④ 再生重油製造・販売
- ⑤ 農業

(7)事業規模 2024年度(2023年9月1日～2024年8月31日)

資本金	1,100万円
売上	1,480百万円/年
産業廃棄物処分量(特別管理産業廃棄物を含む)	20,309トン/年
産業廃棄物収集運搬量(特別管理産業廃棄物を含む)	16,671トン/年
再生重油販売量	10,604kL/年

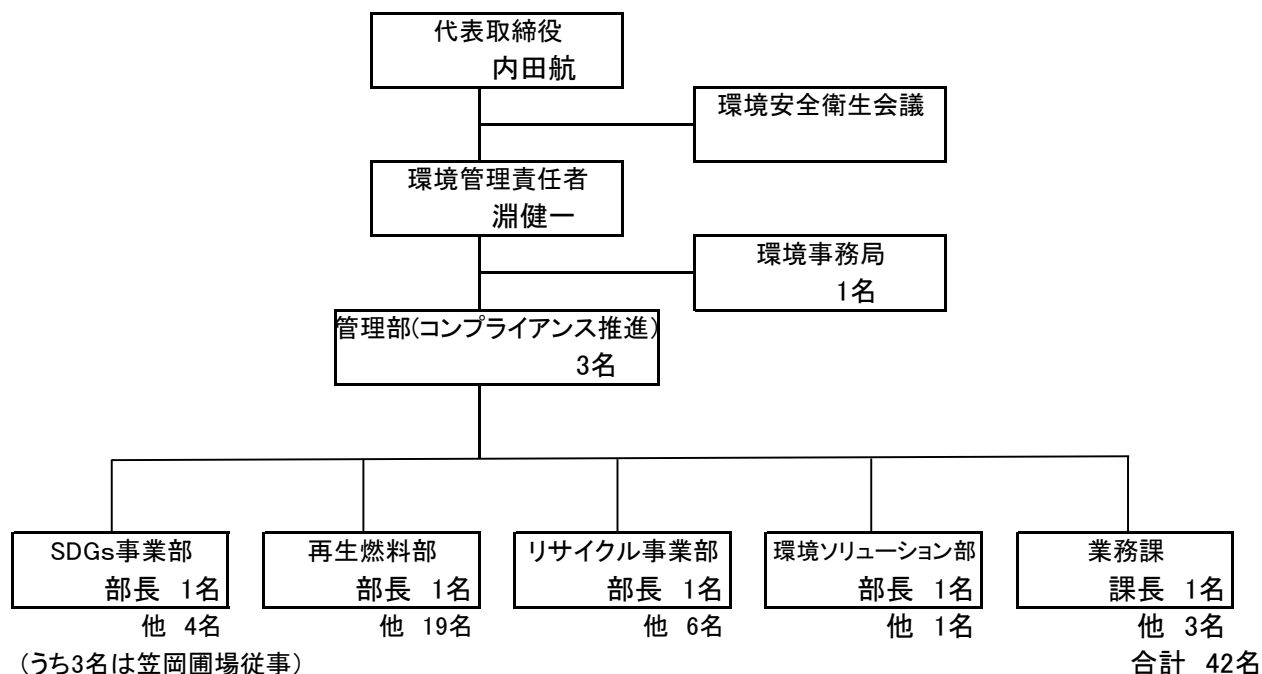
(8)認証・登録の適用範囲

EA21の認証登録の範囲は次の事業所に適用する。

事業所名	所在地	敷地面積
本社・本社工場 (第一工場・第二工場)	岡山県倉敷市松江3丁目2番46号	5,215m ²
本社工場(第三工場)	岡山県倉敷市南畝7丁目14番16号	4,091m ²
本社工場(新工場)	岡山県倉敷市南畝7丁目14番29号	3,551m ²
松江倉庫	岡山県倉敷市松江3丁目277番1	3,882m ²
四国営業所	香川県高松市亀水町1421番23	1,578m ²
笠岡圃場	岡山県笠岡市カブト南町85番2	4,738m ²

※新工場は2023年11月17日稼働開始

(9)環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表取締役	・環境経営に関する統括責任 ・実施体制の構築(環境管理責任者の任命含む) ・経営における課題とチャンス の明確化 ・環境経営方針の制定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示 ・環境経営レポートの承認
環境安全衛生会議	・環境経営目標・環境経営計画書を審議 ・環境活動実績の確認・評価 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を確認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門に関連する環境活動計画の実施、及び達成状況の報告 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施及び記録の作成 ・自部門に必要な手順書の作成 ・自部門の想定される緊急事態への対応の為の手順書作成、訓練の実施、記録の作成
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・環境経営目標・環境経営計画を理解し、自主的・積極的に環境活動へ参加

表1-1、処理施設について①

施設の種類	設置場所	設置年月日	産業廃棄物の種類（廃棄物○、産業廃棄物・特別管理産業廃棄物両方◎）														
			汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属	ガラス	がれき	燃え殻	ばいじん	鉱さい	紙くず	木くず	繊維	ゴム
油水分離施設 （遠心分離式）	倉敷市松江三丁目222番1、222番4、 226番1、226番2、227番1、227番2、 南畝七丁目282番1、283番	平成8年5月27日	○	○													
油水分離施設 （静置式）	倉敷市松江三丁目222番1、222番4、 南畝七丁目282番1、283番	平成8年5月27日	○	○													
中和施設	倉敷市松江三丁目222番1、222番4、 南畝七丁目282番1、283番	平成8年5月27日			◎	◎											
混合調整施設 （混合槽）	倉敷市松江三丁目222番1、222番4、 226番1、226番2、227番1、227番2、 南畝七丁目282番1、283番	平成21年2月6日	○	◎	◎	◎	○	○									
混合調整施設 （溶解槽）	倉敷市松江三丁目222番1、222番4、 226番1、226番2、227番1、227番2、 南畝七丁目282番1、283番	平成21年2月6日	○	○			○										
混合調整施設 （新ピット）	倉敷市松江三丁目222番1、222番4、 226番1、226番2、227番1、227番2、 南畝七丁目282番1、283番	平成21年2月6日	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎	◎	○	○	○	○
混合調整施設 （No.2ピット）	倉敷市松江三丁目222番1、222番4、 226番1、226番2、227番1、227番2、 南畝七丁目282番1、283番	平成21年2月6日	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎	◎	○	○	○	○
切断分離施設 （手動）	倉敷市松江三丁目222番1、222番4、 226番1、226番2、227番1、227番2、 南畝七丁目282番1、283番	平成26年10月16日		○			○	○									
圧縮分離施設	倉敷市松江三丁目222番1、222番4、 226番1、226番2、227番1、227番2、 南畝七丁目282番1、283番	平成26年10月16日		○			○	○									
混合調整施設 （No.1ピット）	倉敷市松江三丁目222番1、222番4、 226番1、226番2、227番1、227番2、 南畝七丁目282番1、283番	平成28年12月5日	◎	◎	◎	◎	○	○				○					
混合調整施設 （No.3北ピット） （No.3南ピット）	倉敷市松江三丁目222番1、222番4、 226番1、226番2、227番1、227番2、 南畝七丁目282番1、283番	平成28年12月5日	◎	◎	◎	◎	○	○				○					
混合調整施設 （No.3北中ピット） （No.3北西ピット） （No.3南中ピット） （No.3南西ピット）	倉敷市松江三丁目222番1、222番4、 226番1、226番2、227番1、227番2、 南畝七丁目282番1、283番	平成29年6月30日	◎	◎	◎	◎	○	○				○					
切断施設	倉敷市松江三丁目222番1、222番4、 南畝七丁目282番1、283番	平成30年2月10日					○	○	○	○				○	○	○	
磁気選別施設	倉敷市松江三丁目222番1、222番4、 南畝七丁目282番1、283番	平成30年2月20日	○	○			○	○	○	○				○	○	○	
切断分離施設 （自動）	倉敷市松江三丁目222番1、222番4、 226番1、226番2、227番1、227番2、 南畝七丁目282番1、283番	令和2年11月16日		○			○	○									
切断分離施設 （固定式兼移動式）	倉敷市南畝七丁目284番1、284番2	令和5年10月30日					○	○	○								

表1-2、処理施設について②

施設の種類	処理能力	処理方式	構造及び施設の概要
油水分離施設 (遠心分離式)	90m ³ /日	遠心分離	汚泥は、自社の混合調整施設にて処理 廃油の流出防止の為、コンクリート製防油堤有 排水は、自社の混合調整施設にて処理 地下浸透防止の為、床面はコンクリート製
油水分離施設 (静置式)	27m ³ /日	静置分離	汚泥は、自社の混合調整施設にて処理 廃油の流出防止の為、建屋内床面は全面コンクリート製 排水は、自社の混合調整施設にて処理 地下浸透防止の為、床面はコンクリート製
中和施設	48m ³ /日	中和攪拌施設	汚泥は、自社の混合調整施設にて処理 排水は、自社の混合調整施設にて処理 地下浸透防止の為、床面はコンクリート製
混合調整施設 (混合槽)	110m ³ /日	混合調整(タンク)	廃油の流出防止の為、コンクリート製防油堤有 地下浸透防止の為、床面はコンクリート製
混合調整施設 (溶解槽)	1.95m ³ /日	混合調整(タンク)	廃油の流出防止の為、コンクリート製防油堤有 地下浸透防止の為、床面はコンクリート製
混合調整施設 (新ピット)	120m ³ /日	混合調整(ピット)	コンクリート製ピットの為、飛散・流出はない 集塵・脱臭装置により、粉じん・臭気対策を実施
混合調整施設 (No.2ピット)	180m ³ /日	混合調整(ピット)	コンクリート製ピットの為、飛散・流出はない 集塵・脱臭装置により、粉じん・臭気対策を実施
切断分離施設 (手動)	0.648トン/日/基×2基	切断分離	廃油の流出防止の為、建屋内床面は全面コンクリート製 地下浸透防止の為、床面はコンクリート製
圧縮分離施設	8.748トン/日	圧縮分離	廃油の流出防止の為、建屋内床面は全面コンクリート製 地下浸透防止の為、床面はコンクリート製
混合調整施設 (No.1ピット)	320m ³ /日	混合調整(ピット)	コンクリート製ピットの為、飛散・流出はない 地下浸透防止の為、周囲の床面はコンクリート製
混合調整施設 (No.3北ピット) (No.3南ピット)	200m ³ /日 200m ³ /日	混合調整(ピット)	コンクリート製ピットの為、飛散・流出はない 地下浸透防止の為、周囲の床面はコンクリート製
混合調整施設 (No.3北中ピット) (No.3北西ピット) (No.3南中ピット) (No.3南西ピット)	112m ³ /日 112m ³ /日 112m ³ /日 112m ³ /日	混合調整(ピット)	コンクリート製ピットの為、飛散・流出はない 地下浸透防止の為、周囲の床面はコンクリート製
切断施設	24トン/日	切断(アタッチメント)	地下浸透防止の為、床面はコンクリート製
磁気選別施設	25トン/日	磁気選別 (リフティングマグネット)	廃油の流出防止の為、建屋内床面は全面コンクリート製 地下浸透防止の為、床面はコンクリート製
切断分離施設 (自動)	5.076トン/日	切断分離	廃油の流出防止の為、建屋内床面は全面コンクリート製 地下浸透防止の為、床面はコンクリート製
切断分離施設 (固定式兼移動式)	28.8トン/日	切断分離	地下浸透防止の為、床面はコンクリート製

表1-3、産業廃棄物処理の処理工程図

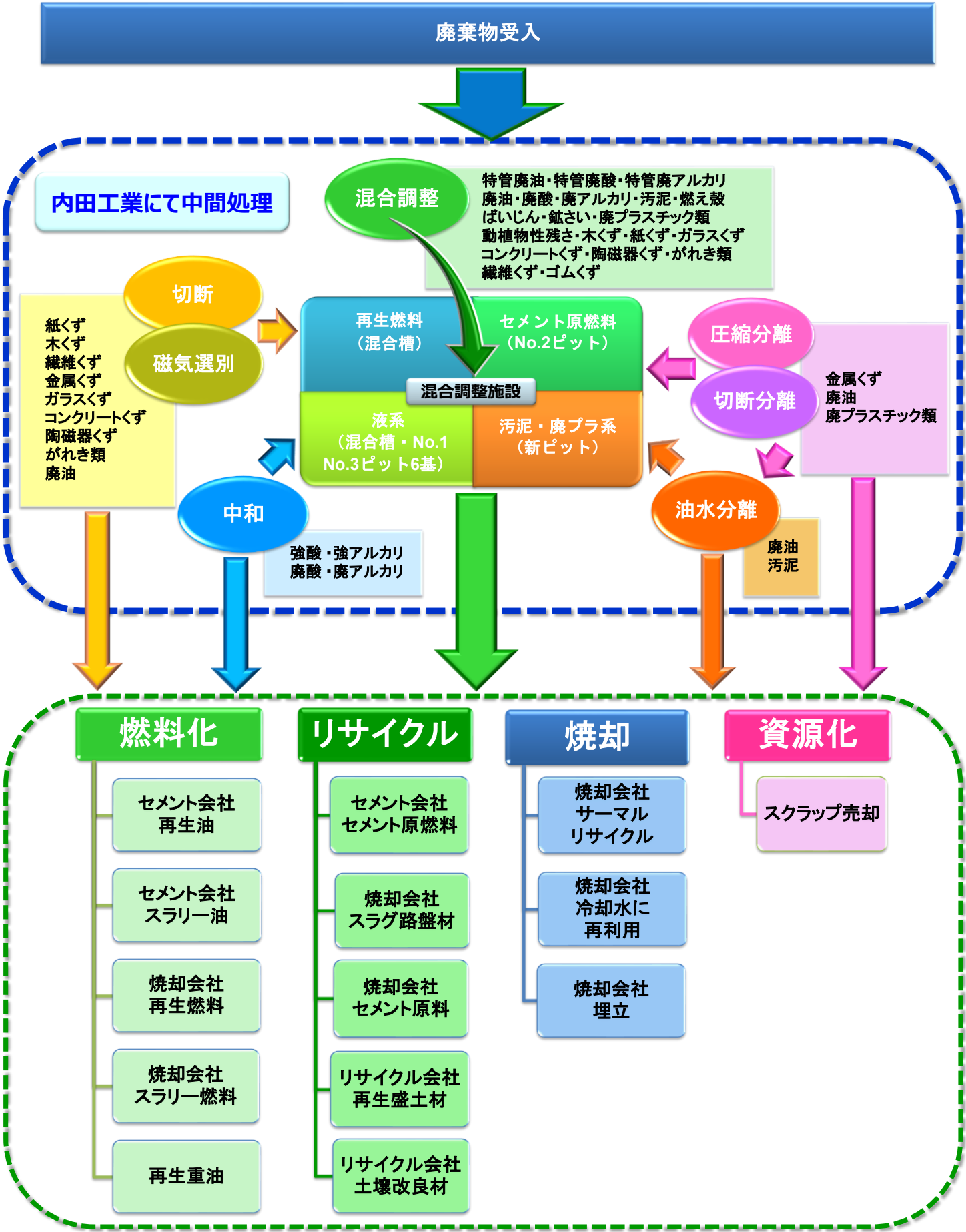


表1-4、産廃許可証一覧表

区分	許可番号	県・市	許可日	有効日	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	廃ガラス（右欄含む）	動植物	ゴム	金属	ガラス	ガラス（右欄含む）	がれき	がれき（右欄含む）	燃え殻	ばいじん	繊維	紙パルプ	木質	動物系固形不燃物	感染性廃棄物	鉱さい
産廃処分	10020005890	倉敷市	2023/11/17	2029/4/5	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○		○
特管処分	10070005890	倉敷市	2023/4/7	2027/7/20	○	○	○	○										○	○						○
収集	10010005890	倉敷市	2023/11/6	2029/4/5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
産廃処分	03320005890	岡山県	2024/1/29	2029/1/28					○				○	○											
収集	03303005890	岡山県	2022/4/6	2029/4/5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
特管収集	03353005890	岡山県	2022/7/16	2027/7/15	○	○	○	○										○	○						○
産廃処分	08320005890	岡山市	2024/2/5	2029/2/4					○				○	○											
収集	03400005890	広島県	2022/2/9	2029/2/8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
特管収集	03450005890	広島県	2022/4/15	2027/4/14	○	○	○	○										○	○					○	○
収集	03500005890	山口県	2023/3/2	2028/3/1	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○		○	○						
特管収集	03550005890	山口県	2023/9/4	2030/9/3	○	○	○	○										○	○						○
収集	3200005890	島根県	2022/12/21	2027/12/20	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○		○	○						
特管収集	3250005890	島根県	2023/3/14	2028/3/13	○	○	○	○										○	○						○
収集	03101005890	鳥取県	2023/4/7	2028/4/6	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○		○	○						
特管収集	03151005890	鳥取県	2024/7/15	2031/7/14	○	○	○	○										○	○						○
収集	03709005890	香川県	2021/8/2	2026/8/1	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○								
特管収集	03759005890	香川県	2023/5/16	2028/5/15		○	○	○																	
収集	09713005890	高松市	2021/8/2	2026/8/1	○	○	○	○	○				○	○		○									
収集	3600005890	徳島県	2021/11/24	2028/11/21	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○			○
特管収集	3650005890	徳島県	2022/10/29	2027/10/28	○	○	○	○											○						
収集	03900005890	高知県	2024/5/23	2026/5/28	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						○
特管収集	03950005890	高知県	2024/1/15	2031/1/14		○	○	○																	
収集	3805005890	愛媛県	2022/2/14	2027/2/13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
特管収集	3855005890	愛媛県	2022/5/24	2029/5/23	○	○	○	○										○	○						○
収集	1807005890	福井県	2024/9/12	2031/9/11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
特管収集	1857005890	福井県	2024/9/12	2031/9/11	○	○	○	○										○							
収集	02100005890	岐阜県	2020/5/16	2025/5/15	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○		○	○						
特管収集	02150005890	岐阜県	2020/5/16	2025/5/15	○	○	○	○										○	○						○
収集	02300005890	愛知県	2024/9/8	2031/9/7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○			○
特管収集	02350005890	愛知県	2024/9/8	2031/9/7	○	○	○	○										○	△						○
収集	02501005890	滋賀県	2024/7/18	2031/7/17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○			○
特管収集	02551005890	滋賀県	2024/7/18	2031/7/17	○	○	○	○										○	○						○
収集	02601005890	京都府	2024/8/26	2031/8/25	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
特管収集	02651005890	京都府	2024/8/26	2031/8/25		○	○	○																	
収集	02400005890	三重県	2024/9/30	2031/9/23	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
特管収集	02450005890	三重県	2024/9/30	2031/9/23	○	○	○	○										○	○						○
収集	02900005890	奈良県	2024/9/26	2031/9/25	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
特管収集	02950005890	奈良県	2024/9/26	2031/9/25		○	○	○																	○
収集	02700005890	大阪府	2021/4/25	2026/4/24	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
特管収集	02750005890	大阪府	2021/4/25	2026/4/24	○	○	○	○										○	○						○
収集	02806005890	兵庫県	2021/11/8	2028/11/7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
特管収集	02856005890	兵庫県	2023/3/30	2030/3/29	○	○	○	○										○	○						○
収集	04000005890	福岡県	2022/5/22	2029/5/21	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○		○	○	○	○	○			○
特管収集	04050005890	福岡県	2022/5/22	2029/5/21	○	○	○	○										○	○						○

※△は、産業廃棄物の種類の表記方法が他とは異なる場合である。

表1-5、収集運搬業の積替保管施設について

許可自治体	倉敷市	
設置場所	岡山県倉敷市松江3丁目277番1	倉敷市南畝7丁目284番1、284番2
面積	390m ²	378.5m ²
種類	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、 廃プラスチック類、紙くず、 木くず、繊維くず、動植物性残さ、 ゴムくず、金属くず、 ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、 鋳さい、がれき類、ばいじん	廃プラスチック類、金属くず、 ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず
保管上限	216m ³	33.72t
高さ	なし(容器を用いる保管)	なし(屋内保管)

許可自治体	高松市	
設置場所	香川県高松市亀水町1421番23	
面積	35m ²	1.4m ²
種類	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、 廃プラスチック類、紙くず、 木くず、繊維くず、動植物性残さ、 ゴムくず、金属くず、 ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、 鋳さい、がれき類、ばいじん	廃油
保管上限	35m ³	1.99m ³
高さ	なし(容器を用いる保管)	なし(容器を用いる保管)

表1-6、収集運搬車両一覧表

車種	台数	積載能力kg
タンク車	22台	12970
		12760
		12500
		11540
		11310
		11060
		7390
		5220
		5220
		5220
		4540
		3610
		3520
		3480
		3360
		3360
		3360
		3300
		3300
		3280
		3280
		3200
清掃車	9台	12500
		10150
		10120
		9460
		9180
		9130
		3200
		3100
		2280

車種	台数	積載能力kg
キャブオーバ	11台	13600
		11900
		7900
		6600
		3900
		3500
		3200
		3000
		2000
		700
		350
バン	2台	13700
		13400
トレーラ	1台	20010
ダンプ	2台	9200
		9100

表1-7、受託した産業廃棄物の処理量(特別管理産業廃棄物を含む)

(i) 収集運搬

廃棄物の種類	単位	収集運搬量
燃え殻	t	177.93
汚泥	t	5,673.32
廃油	t	3,638.06
廃酸	t	1,112.89
廃アルカリ	t	2,314.65
廃プラスチック類	t	411.80
木くず	t	3.28
動植物性残さ	t	141.93
ゴムくず	t	1.42
金属くず	t	224.11
ガラスくず	t	7.38
がれき類	t	0.79
紙くず	t	1.12
鉱さい	t	14.13
特管汚泥	t	0.00
特管廃油	t	2,076.21
特管廃酸	t	32.08
特管廃アルカリ	t	840.25
合計	t	16,671.34

(ii) 中間処理

	廃棄物の種類	処理方法等	単位	処理量
中間処理	燃え殻	混合調整	t	231.08
	汚泥	混合調整	t	7,101.05
	廃油	混合調整、油水分離	t	4,467.76
	廃酸	混合調整、中和	t	1,113.85
	廃アルカリ	混合調整、中和	t	2,861.66
	廃プラスチック類	混合調整、切断、磁気選別	t	770.67
	紙くず	混合調整、切断	t	1.12
	木くず	混合調整、切断	t	3.43
	動植物性残さ	混合調整	t	138.33
	ゴムくず	混合調整	t	1.42
	金属くず	圧縮分離、切断、磁気選別	t	239.02
	ガラスくず	混合調整、切断	t	9.00
	鉱さい	混合調整	t	27.66
	がれき類	混合調整	t	4.51
	特管汚泥	混合調整	t	0.00
	特管廃油	混合調整	t	2,446.23
	特管廃酸	中和	t	32.24
	特管廃アルカリ	混合調整、中和	t	860.34
	燃え殻	混合調整	t	32.35
	汚泥	混合調整	t	3,550.53
再資源化等	廃油	混合調整、油水分離	t	3,574.21
	廃酸	混合調整、中和	t	0.00
	廃アルカリ	混合調整、中和	t	1,144.66
	廃プラスチック類	混合調整、切断、磁気選別	t	107.89
	紙くず	混合調整、切断	t	0.16
	木くず	混合調整、切断	t	0.48
	動植物性残さ	混合調整	t	19.37
	ゴムくず	混合調整	t	0.20
	金属くず	圧縮分離、切断、磁気選別	t	215.11
	ガラスくず	混合調整、切断	t	1.26
	鉱さい	混合調整	t	3.87
	がれき類	混合調整	t	0.63
	ばいじん	混合調整	t	0.00
	特管廃油	混合調整	t	1,956.98
	特管廃酸	中和	t	0.00
	特管廃アルカリ	混合調整、中和	t	344.14
	小計		t	10,951.84
合計			t	20,309.36

(iii) 最終処分

廃棄物の種類	処理方法等	単位	処分量
		t	
		t	
		t	
		t	
合計		t	

(iv) 中間処理後の産業廃棄物(最終処分・中間処理・再資源化等)

(IV) 中間処理後の産業廃棄物(最終処分・中間処理・再資源化等)					
産業廃棄物 中間処理後の	最終処分	廃棄物の種類	処理方法等	単位	処分量等
		廃油	燃料として売却	t	3,841.09
				t	
				t	
				t	
	小計			t	3,841.09
	(再資源化等) 中間処理	廃棄物の種類	処理方法等	単位	処理量等
		廃油・廃アルカリ・汚泥	原料として利用(委託)	t	7,468.24
		廃油・廃アルカリ・汚泥	焼却(委託)	t	9,663.44
				t	
				t	
小計			t	17,131.68	
合計			t	20,972.77	

2、環境経営方針

「環境理念・環境経営方針」

(1) 環境理念

当社は、産業廃棄物収集運搬及びリサイクルを行う会社として、顧客が安心して任される企業を目指し、地球環境の保全に努め、限りある資源を大切にします。

(2) 環境経営方針

地球自然環境と事業活動との調和を目指し、豊かな社会造りに貢献します。事業活動に伴う環境への負荷低減のために、以下の活動を行います。また、環境経営の継続的改善を行います。

- ① 我が社が行う環境保全活動を経営の最重点課題として位置付け、全社員で次の項目に取り組みます。
 - a) 二酸化炭素排出量(電力・燃料等)の削減
 - b) 省資源(水・紙等)の推進
 - c) 自社廃棄物・受入産業廃棄物のリサイクルの推進
- ② 環境に関する法律、規制の遵守と自主規制基準設定による環境管理体制の整備と汚染予防に努めます。
- ③ 環境教育に力点を置き、全社員に徹底する広報活動を行うことにより、環境に対する意識向上を図ると共に、我が社の取り組みについて関係取引先にも周知徹底し、理解と協力を得られるように努めます。
- ④ 我が社の事業活動を行うのに当たり環境経営目標を設定し、推進します。又、定期的に見直しを行います。
- ⑤ EA21の取組状況を環境経営レポートにまとめ、一般へ開示します。

2014年11月1日制定

2024年11月8日改訂

内田工業株式会社

代表取締役 内田 航

3、環境経営目標(2023～2025年度)

表3-1 環境経営目標

項目	実施 場所	2022年度			2023年度	2024年度	2025年度
		基準年度実績					
CO2排出量 kg-CO2	全体	電気	79,596	目標	78,800	78,004	77,208
				実績	77,286	71,720	
		化石 燃料	969,585	目標	959,889	950,193	940,497
				実績	972,026	900,539	
		合計	1,049,182	目標	1,038,690	1,028,198	1,017,707
				実績	1,049,311	972,259	
廃棄物排出量 t	事務所	1.8		目標	1.8	1.8	1.8
				実績	1.8	1.8	
リサイクル率 %	現場	64.2		目標	64.4	64.6	64.8
				実績	63.4	76.7	
水使用量 m³	全体	3,230		目標	3,198	3,165	3,133
				実績	3,238	2,381	
グリーン購入 品目	事務所	21		目標	21	21	21
				実績	22	22	
教育訓練 実施回数	各部門	28		目標	28	28	28
				実績	28	28	

※2023年度から笠岡園場を対象事業所に追加するので、2022年度の全体数値に笠岡園場を12か月分に換算して加えて、基準年の数値として、目標修正を行った。

※購入電力のCO2排出係数は、2020年度の調整後排出係数(中国電力0.521kg-CO2/kWh、四国電力0.574kg-CO2/kWh)を用いて計算しています。3年目標設定時に、最新の電力排出係数に見直しをします。

※CO2排出量、水使用量の削減目標は、基準年度に対して、2023年度1%削減、2024年度2%削減、2025年度3%削減。

※リサイクル率は、排出先で再資源化された量(t)÷中間処理した量(t)。目標は、基準年度に対して、

2023年度0.2%増加、2024年度0.4%増加、2025年度0.6%増加。

※化学物質は分析にしか使用していないので、量は把握しているが削減目標は設定していない。2024年度における年間使用量は、キシレン48kgである。

表3-2 個別目標

		2022年度 基準年度実績		2023年度	2024年度	2025年度
電気	kWh	152,354	目標	150,830	149,307	147,783
			実績	147,899	137,190	
灯油	L	1,371	目標	1,357	1,344	1,330
			実績	1,365	1,166	
LPG	kg	90	目標	89	35.6(2023年目標修正)	2(2024年目標修正)
			実績	36	2	
ガソリン	L	19,633	目標	19,437	19,240	19,044
			実績	18,917	18,410	
軽油燃費	km/L	4.42	目標	4.46	4.51	4.55
			実績	4.80	4.69	

※電気、LPG、ガソリンの削減目標は、基準年度に対して、2023年度1%削減、2024年度2%削減、2025年度3%削減。

※灯油の削減目標は、基準年度に対して、2023年度1%削減、2024年度2%削減、2025年度3%削減。

※軽油燃費の定義は、軽油で走行する社用車の走行距離(km)÷軽油使用量(L)。

1,383,478km÷(327,924L-場内重機使用量15,150L)÷4.42km/L

※軽油燃費の目標は、基準年度に対して、2023年度1%向上、2024年度2%向上、2025年度3%向上。

4、環境経営計画(2024年度)

環境経営計画(2024年度)		実施責任者
(1)CO2排出量の削減(省エネに関する取組み)		
事務所 ① エアコンフィルターの定期的な清掃 ② エアコンは冷房時28℃以上、暖房時20度以下の温度設定にする ③ OA機器も使用しない時はこまめに電源を切るもしくは省電力モードにする	三宅	
現場 ① 最短距離で廻れる様にルートの見直し及び効率的な運行計画を立てる ② 工事や規制等の交通情報を共有して、運行計画に生かす ③ 駐停車中のアイドリングストップ ④ 燃費改善の為、タイヤの空気圧をこまめにチェックする	本社担当 井川 四国担当 藪下	
(2)廃棄物排出量の削減(リサイクルに関する取組み)		
事務所 ① ごみの分別を徹底する(わかりやすい分別を心がける) ② 印刷時、裏紙を使用、または縮小コピーを活用し、紙の使用量を減らす	三宅	
現場 ① 現場での適正な分別をし、リサイクル率を向上させる	淵	
(3)水使用量の削減		
事務所 ① こまめな節水	三宅	
現場 ① 車の洗車時に、水の使用量を必要最小限にする	淵	
四国 ① 車の洗車時に、水の使用量を必要最小限にする(新人教育時に注意)	藪下	
(4)受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮		
現場 ① 産業廃棄物のリサイクル率の増加	淵	
(5)グリーン購入の促進		
事務所 ① エコラベル商品の優先購入	三宅	
(6)全体や各部門で、教育訓練を実施する		
各部門 ① リサイクル事業部教育テストを計画的に実施する	淵	
各部門 ① 再生燃料部安全教育等を計画的に実施する	井川	

※年間を通して継続的に活動する。

5、環境経営計画の取組内容とその評価

環境経営計画の取組内容(2024年度)		評価
(1)CO2排出量の削減(省エネに関する取組み)		
事務所	① エアコンフィルターの定期清掃ができた。	○、継続
	② エアコン使用ルールを整備して、運用を厳格化した。	○、継続
	③ OA機器の節電ができた。	○、継続
現場	① 効率的な運行計画を立てられた。	○、継続
	② 交通情報を共有できた。	○、継続
	③ 駐停車中のアイドリングストップができた。	○、継続
	④ タイヤの空気圧をこまめにチェックできた。	○、継続
(2)廃棄物排出量の削減(リサイクルに関する取り組み)		
事務所	① ごみの分別を徹底できた。	○、継続
	② 裏紙の使用を徹底できている為、裏紙が不足する場面も見られた。両面印刷されている紙やホッチキスの付いている紙が、裏紙置場に置かれている場面が見られた為、ダブルチェック出来る様に変更した。	○、継続
現場	① リサイクル率を向上させる分別を継続中。	○、継続
(3)水使用量の削減		
事務所	① こまめな節水ができた。	○、継続
現場	① 車の洗車時に、節水を意識できた。	○、継続
四国	① 車の洗車時に、節水を意識できた。	○、継続
(4)受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮		
現場	① リサイクル率を向上できた。	○、継続
(5)グリーン購入の促進		
事務所	① エコラベル商品の優先購入ができた。	○、継続
(6)全体や各部門で、教育訓練を実施する		
各部門	① リサイクル事業部教育テストを計画的に実施した。	○、継続
各部門	① 再生燃料部安全教育等を計画的に実施した。	○、継続

6、環境経営目標の実績とその評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

表6-1 環境経営目標の実績と評価

項目	実施	2022年度		2024年度		実績	評価
	場所	基準年度実績					
CO2排出量 kg-CO2	全体	電気	79,596	目標	78,004	8.1%削減(達成)	○
				実績	71,720	工場の天井ファン・コンプレッサー等の節電が進んで、削減できた。	
		化石燃料	969,585	目標	950,193	5.2%削減(達成)	○
				実績	900,539	軽油が9.0%削減、ガソリンが2.7%、前年より使用量が削減した為。	
		合計	1,049,182	目標	1,028,198	5.4%削減(達成)	○
				実績	972,259	節電は評価できるが、軽油使用量は、走行距離も減少しているので評価が難し	
廃棄物排出量 t	事務所	1.8		目標	1.8	目標達成	○
				実績	1.8	排出量削減意識が維持できている。	
リサイクル率 %	現場	64.2		目標	64.6	目標より12.0%高い(達成)	○
				実績	76.7	出荷バランスが変わった為。	
水使用量 m ²	全体	3,230		目標	3,165	24.8%削減(達成)	○
				実績	2,381	上水、工業用水共に、大きく削減できた。	
グリーン購入 品目	事務所	21		目標	21	目標達成	○
				実績	22	グリーン購入を推進できている。	
教育訓練 実施回数	各部門	28		目標	28	目標達成	○
				実績	28	年間計画通りに、実施できている。	

※評価は、目標達成時は○、達成率90%以上は△、達成率90%未満は×とし、×の場合は是正処置対象とする。

表6-2 個別目標の実績と評価

		2022年度 基準年度実績	2024年度		実績	評価
電気	kWh	152,354	目標	149,307	8.1%削減(達成)	○
			実績	137,190	工場の天井ファン・コンプレッサー等の節電が進んで、削減できた。	
灯油	L	1,371	目標	1,344	13.2%削減(達成)	○
			実績	1,166	事務所給湯器、温水洗車機共に灯油使用量の削減ができた。	
LPG	kg	35.6 (2023年目標修正)	目標	35.6(2023年目標修正)	94.4%削減(達成)	○
			実績	2	福江倉庫での使用がなくなり、ホイヤー点火の使用のみの為、激減した。	
ガソリン	L	1	目標	19,240	4.3%削減(達成)	○
			実績	18,410	渋滞回避等、燃費を意識した運転で、達成できた。	
軽油燃費	km/L	4.42	目標	4.51	目標より0.18km/L燃費が良い(達成)	○
			実績	4.69	渋滞回避等、燃費を意識した運転で、達成できた。	

※軽油燃費の定義は、軽油で走行する社用車の走行距離(km)÷軽油使用量(L)。

※評価は、目標達成時は○、達成率90%以上は△、達成率90%未満は×とし、×の場合は是正処置対象とする。

次年度の環境経営目標は、p.12を参照

環境経営計画(2025年度)

	実施責任者
(1)CO2排出量の削減(省エネに関する取組み)	
事務所 ① エアコンフィルターの定期的な清掃 ② 夏季には、事務所2階の換気扇を使用して、気温上昇を抑える ③ エアコンは冷房時25℃以上、暖房時25℃以下の温度設定にする ④ OA機器も使用しない時はこまめに電源を切るもしくは省電力モードにする	三宅
現場 ① 最短距離で廻れる様にルートの見直し及び効率的な運行計画を立てる ② 工事や規制等の交通情報を共有して、運行計画に生かす ③ 駐停車中のアイドリングストップ ④ 燃費改善の為、タイヤの空気圧をこまめにチェックする	本社担当 井川 四国担当 藪下
(2)廃棄物排出量の削減(リサイクルに関する取組み)	
事務所 ① ごみの分別を徹底する(わかりやすい分別を心がける) ② 印刷時、裏紙を使用、または縮小コピーを活用し、紙の使用量を減らす ③ 裏紙置場への用紙の供給時には、用紙の状態をチェックしてから置く ④ 請求書の電子化を進めて、紙の使用量を減らす	三宅
現場 ① 現場での適正な分別をし、リサイクル率を向上させる	淵
(3)水使用量の削減	
事務所 ① こまめな節水	三宅
現場 ① 車の洗車時に、水の使用量を必要最小限にする	淵
四国 ① 車の洗車時に、水の使用量を必要最小限にする(新人教育時に注意)	藪下
(4)受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮	
現場 ① 産業廃棄物のリサイクル率の増加	淵
(5)グリーン購入の促進	
事務所 ① エコラベル商品の優先購入	三宅
(6)全体や各部門で、教育訓練を実施する	
各部門 ① リサイクル事業部教育テストを計画的に実施する	淵
各部門 ① 再生燃料部安全教育等を計画的に実施する	井川

※年間を通して継続的に活動する。

7、環境関連法規等の遵守状況・評価並びに違反・訴訟等の有無

遵守評価日： 2024年11月8日

No.	規制名称	制定年	最新 改定年月	確認 チェック	規制 事項	環境側面 との関連	該当の理由	遵守 評価
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	昭和45年	R4.6.17	レ	第二条	許可施設 許可更新	産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処分業が該当 許可更新をし一覧表を作成して管理する ※詳細は次頁に掲載	○
2	資源の有効な利用の促進に関する法律	平成3年	R4.5.20	レ		全般	消費者の責務に該当	○
3	特定家庭用機器再商品化法	平成10年	H29.6.16	レ		事務所の 電化製品	事務所のエアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機を廃棄する際は、 正規のリサイクル業者に依頼する	○
4	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律	平成24年	H24.8.10	レ		事務所の 電化製品	事務所のパソコン・携帯電話・デジタルカメラを廃棄する際は、 正規のリサイクル業者に依頼する	○
5	道路交通法	昭和35年	R6.6.21	レ	第74条	運転管理	安全運転管理者の選任	○
6	道路運送車両法	昭和26年	R5.6.16	レ	—	車両使用	回収車、営業車が該当	○
7	使用済自動車の再資源化等に関する法律	平成14年	R5.6.16	レ		車両廃車	回収車、営業車を廃車する際は、 正規のリサイクル業者に依頼する	○
8	自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法	平成4年	R1.5.24	レ	第四条	車両の 排気ガス	回収車、営業車について、自動車排出窒素酸化物等の排出の抑制のために必要な措置を講ずるように努める	○
9	岡山県環境への負担の低減に関する条例	平成13年	H31.4.1	レ		車両の 排気ガス	回収車、営業車について、アイドリング・ストップの徹底を図る	○
10	大阪府生活環境の保全等に関する条例	平成6年	R5.4.1	レ	第40条	車両の 排気ガス	大阪府の回収は、車種規制適合車を使用する	○
11	環境の保全と創造に関する条例	平成7年	R6.3.21	レ	第67条	排気ガス	兵庫県の回収は、車種規制適合車を使用する	○
12	水質汚濁防止法	昭和45年	R4.6.17	レ	第14条	廃油漏洩	油水分離施設について、緊急事態一覧の対応手順に従って、処置を行い、県知事に届出を行う。	○
13	下水道法	昭和33年	R4.6.17	レ		排水	下水道の規則を守って使用する	○
14	労働安全衛生法	昭和47年	R4.6.17	レ	第76条	クレーン	クレーン教育・点検を行って、安全に作業する。	○
15	消防法	昭和23年	R5.6.16	レ		車両・タンク 法律順守	危険物一般取扱所、屋外タンク貯蔵所、移動式タンク貯蔵所が該当 年次点検、危険物資格、危険物講習等の確認	○
16	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	平成27年	R4.6.17	レ		油圧 シヨベル	工場の油圧シヨベルに搭載されているエアコンは、第一種特定製品なので、 機器の点検の実施等の対応が必要	○
17	毒物及び劇物取締法	昭和25年	R5.5.26	レ		試薬	毒物劇物について、貯蔵・保管方法を順守する。	○
18	浄化槽法	昭和58年	R5.6.16	レ		排水	浄化槽の規則を守って使用する（保守点検、水質検査の実施）	○

7、環境関連法規等の遵守状況・評価並びに違反・訴訟等の有無(その2)

遵守評価日:2024年11月8日

法規制等名称	該当する設備・項目等	該当する要求事項	点検・測定濃度実施時期	届出・報告等					関連部門	遵守評価	
				許可	届出	報告	資格	届出先		証拠	判定
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	自社の一般廃棄物の処理	許可業者へ委託							管理部	許可証	○
	産業廃棄物の収集運搬業・処分業	産業廃棄物収集運搬業・処分業許可	5年毎の更新	○				各県・市	管理部	許可証	○
		特別産業廃棄物収集運搬業許可	5年毎の更新	○				各県・市	管理部	許可証	○
		収集運搬車両への表示と書面備付け	都度					-	管理部	現場視察	○
		収集運搬・処分管理帳簿の作成・保存	5年毎の更新					-	管理部	管理台帳	○
		マニフェストの管理									
		(収集)B1・C2票の保管(5年間)、B2票を排出事業者へ送付(10日以内)						-	管理部	マニフェスト	○
		(処分)C1票の保管(5年間)、C2票・D票・E票を収集運搬業者・排出事業者へ送付(10日以内)							管理部	マニフェスト	○
		産業廃棄物処理施設(廃棄物焼却炉)設置許可、責任者・技術管理者設置		○					管理部	変更届	○
		再委託の禁止							管理部	配車システム	○
	自社の産業廃棄物の処理	保管基準の遵守(表示・飛散防止)	保管時					-	リサイクル事業部	保管現場	○
		産業廃棄物処理許可業者への委託(契約の締結)	処理委託時					-	リサイクル事業部	契約書 許可証	○
		処理業者の処理能力の確認	処理委託時					-	リサイクル事業部	確認記録	○
		マニフェストの発行・管理 A・B2・D・E票の保管(5年間)、B2・D票90日、E票180日以内に送付されない場合は知事への報告(30日以内)	都度					-	管理部	マニフェスト	○
		マニフェスト発行状況の報告	毎年6月末まで			○		倉敷市	管理部	報告書	○

※環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

8、代表者による全体の評価と見直し・指示

作成日： 2024年9月30日

代表者の指示事項				
	項目	変更の必要性		指示内容
		あり	なし	
1	環境経営方針		○	現状、変更の必要なし
2	環境経営目標及び環境経営計画		○	電気も水も使用量の削減が進んで、活動の効果が良くなった。請求書の電子化を進めて、印刷代、コピー用紙代、封筒代、切手代などの削減をして下さい。
3	環境管理の為の組織		○	現状、変更の必要なし
4	その他、環境管理に関する要素		○	現状、変更の必要なし

総括コメント
・ 感染対策での換気をしなくて良くなったので、エアコンの温度設定の管理を厳格にして、節電につなげて下さい。 ・ 洗車マニュアルを更新したので、ルールを守って、節水を進めて下さい。 ・ 車両の更新により、燃費が良くなると考えられるが、運転の仕方でもしっかりエコドライブを実践して燃費を意識して下さい。 ・ 新工場での太陽光パネルリサイクルを増やす事で、全体のリサイクル率を高める事になるので、計画を進めて下さい。
2024年9月30日 代表取締役 内田 航